



埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県 獣医師会 会報

第 668 号

令和元年 6 月 20 日 編集

発行所
公益社団法人 埼玉県獣医師会
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340
(埼玉県農業共済会館内)
電話 048(645)1906
FAX 048(648)1865
E-mail : s-vma@vesta.ocn.ne.jp
URL : <http://www.saitama-vma.org/>
振替口座 00110-9-195954番

発行責任者 高橋 三男

編集責任者 大橋 邦啓

印刷所 (株)アサヒコミュニケーションズ

記事の内容

(公社) 埼玉県獣医師会第71回定時総会・
懇親会開催…………… 1
埼玉県獣医師連盟総会開催…………… 22

会務報告

第2回総務委員会…………… 22
第2回理事会…………… 22
臨時理事会…………… 23

予告

東支部学術講習会のお知らせ…………… 24

新入会員報告

新入会員紹介…………… 25

ひろば

第146回埼玉県獣医師会ゴルフ同好会コンペ
結果報告…………… 26

お知らせ

2019年度関東・東京合同地区獣医師会大会(千葉)、
獣医学術関東・東京合同地区学会開催案内・参加申込…………… 27
日本獣医師会からのお知らせ…………… 29

埼玉県獣医師会学術広報版…………… 30

事務局より

事務局メモ…………… 31

編集後記…………… 32

公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めま

す。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう
1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう
1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう
1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう
1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

(公社) 埼玉県獣医師会第71回定時総会開催

令和元年6月5日(水)午後2時から、さいたま市「清水園」に於いて、多くの会員を始め、御来賓等、総勢230名を超える関係者が出席して、第71回定時総会が盛大に開催され、全ての議案が原案のとおり可決・承認されました。



高橋三男埼玉県獣医師会会長挨拶

総会は、総務委員会の大橋邦啓委員長(北支部)と直井昌之副委員長(さいたま市支部)の総合司会により、各総務委員が役割を分担して、次により進められました。

(1) 開会の言葉

中村滋副会長が開会を宣言した。

(2) 埼玉県獣医師会会員憲章の唱和

古川修治委員(西支部)の進行により、全会員が起立し「会員憲章」の唱和を行った。

(3) 物故会員に対し黙祷

日下雄太委員(南支部)の進行により、昨年度御逝去された、団体支部・赤塚護先生、団体支部・山田豊徳先生、農林支部・八木恒文先生、西支部・梅澤憲治先生、東支部・原久雄先生、農林支部・池本英志先生のご冥福を祈り、全員起立し黙祷を捧げた。



全員起立して会員憲章を唱和



ご来賓の皆様

前列右から 埼玉県知事代理 埼玉県農林部長 牧 千瑞様、埼玉県議会環境農林委員長 飯塚俊彦様、日本獣医師会顧問 北村直人様、日本獣医師会専務理事 境 政人様、埼玉県畜産会会長 坂本富雄様、埼玉県農業共済組合組合長 井上 清様、埼玉県養豚協会会長 加藤健一様、さいたま観光国際協会会長 清水志摩子様、(株)ヘリテイジリゾート代表取締役社長 杉田憲康様(代理 総支配人・総料理長 齊藤勇人様)

後列右から 埼玉県畜産安全課長 丸山盛司様、埼玉県生活衛生課長 橋谷田元様、埼玉県みどり自然課長 島田 厚様、さいたま市動物愛護ふれあいセンター所長 太田 伸様、埼玉りそな銀行常務執行役員 宮崎恒史様、武蔵野銀行地域サポート部長 新井康裕様、(株)テレビ埼玉プランニング営業部長 石川祥生様

(4) 会長あいさつ

時は流れ、世はまさに大きく変革の時代を迎えた本日、平成よありがとう、さようなら、そして令和よこんにちは。希望に満ちた新元号へと移り変わる記念すべき歴史的な年の定時総会を、ここに知事代理として牧千端農林部長さん、並びに県議会より飯塚俊彦環境農林委員長さんはじめ、日本獣医師会からは境政人専務理事、並びに先ほど開催をした埼玉県獣医師連盟の総会から御出席いただいた、日本獣医師会顧問で、日本獣医師連盟委員長の北村直人先生にご臨席をいただきながら、多数の会員の皆様方をはじめ、本総会に269名、そして総会後の懇親会に251名、延べ530名の多くの方のご臨席をいただき、開催できますことを主催者といたしまして心から厚く御礼申し上げます。

また、第二部の懇親会におきましては、極めてご多忙なおり、埼玉県知事上田清司様、さらには日頃ご指導をいただいております、埼玉県医師会会長金井忠男様をはじめ各界各層の皆様方、衆・

参の国会議員をはじめとした議員の皆様方など多くのご来賓にご出席頂く予定です。

さて、我が日本においては、北里大学が新設されて以来約50年近く獣医大学は現状のままでありました。2年前にあれだけ世論を巻き込んだ四国の加計学園はすでに開設して2年目を迎え、あと5年たつと立派に我々の後輩として獣医師が誕生します。その中で今、我々埼玉県獣医師会は845名の会員が開業獣医師、そして県庁を始めとした行政などの勤務獣医師として大きく貢献をしています。特に小動物分野におきましては、命の尊さ、人と動物の共生、まさにワンヘルスで人間と共に暮らし、共に喜怒哀楽をするという、我々の生活環境になくはないよき友であります家庭動物の命を守り、また、行政におきましては295名の獣医師が生産から流通、そして食卓まで幅広い分野で、同じ獣医師でいながら、生産者と消費者として、立場は変わっても人の健康を守る、さらに人の栄養源として動物蛋白を供給するという立派な役割が今大きく認められています。

そのような現実に直面し、我々獣医師会も、昨年、多くの皆様方の協力をいただき、創立70周年記念事業を開催することができました。そしてさらに80周年に向かって大きな竹のごとく節目を刻むこともできました。その記念式典におきましては、我々の同志であります元日本大学総長、現在は日本獣医師会副会長の酒井健夫先生の人と動物の公衆衛生に関して、世界的な見地から狂犬病をはじめとする人獣共通感染症の問題、そしてさらに獣医大学の現況を東京大学教授で前メディカルセンター長の辻本元先生に、大学病院と我々個人病院との連携の面からも講義をしていただきました。さらには上田知事からは、295名の獣医師がおのおのの立場から、県職員として県民の福祉そして健康増進に努力している行政のトップとして記念講演をいただき、非常に意義ある大会となったところであります。

私は60周年当時には会長職に就任して日が浅く、しかし、やがて70周年を迎えることを見越して毎年僅かな額ではありましたが、引当金として備蓄をさせていただき、少額とはいえ10年間で運営には十分な金額となりました。これを基として様々な角度から会員の皆様方にお骨折りをいただき、経費を節減しながら、最大の効果をあげる、これは会長として、リーダーとしての経営手腕が最も求められるところではありますが、幸いにして本日の総会にも決算報告として計上させていただいておりますように、総額1千万円を超える事業を開催させていただきました。しかし、来るべき80周年という時代には10年間で大きく変わるであろう世の中の変化に対し、獣医師会の対応はどうあるべきか、大変危惧を致している一人であります。私のできることはその貴重な財源となる積立金を80周年に向かってこれから獣医師会を支える皆様方にそれをしっかりと残して、新しい夢のある獣医師たち、これから夢と希望をもって大学を卒業してくる我々の後輩たちのためにも獣医師会をしっかりと舵取りをしていかなければなりません。この10年は最も大切な時期となります。財政面ではほぼ全額80周年に引き継ぎその準備をすることができました。本当にご協力ありがとうございました。

今、激動する社会情勢の中、獣医師会も例外ではありません。少子化時代の到来、そして人生

100歳という高齢化社会を迎え、これまでの経験では判断することが難しい時代となります。今こそ我々獣医師会は次の時代に向かって大きく邁進しなければなりません。本日の議案であります昨年度の事業決算ですが、私は会の責任者として皆様方からお預かりした貴重な会費を、いかに最少の経費で最大の効果をあげることができるか、これこそまさに最高責任者の経営手腕が求められていると思います。そういう状況のなかで皆様方には事業運営に深いご支援をいただきながら、しかし一方で予算がないから事業ができないということでは公益法人としての役目は務まりません。予算がなくても重要な事業にはピンポイントで予算をつける、そして今はできなくても後でできればいい問題は後回しにする。そのようなメリハリをつけた会の運営にこの1年間努力をさせていただきました。

日本獣医師会では、藏内会長が学識と経験を生かされ、まれにみる手腕を発揮され、先人の残した資産を守り、順調に事業運営を遂行している姿に感謝申し上げます。さらに現在、境専務が大変ご苦勞をされております。約1年前には健康そのものでありましたが、様々な問題を一手に担っているために体調を崩しました。ようやく今日おいでいただき、心身ともに元の身体に戻っている姿を拝見し、安心した次第であります。私たち会員も今後、そのご活躍に大いに期待をするところがあります。このような現況で、今や日本獣医師会も青山1丁目の西館23階を拠点として、その所有権を等価交換方式で所有いたしております。その間、賃貸で収入もありました。しかしこれからはその建物も35年から40年を経て老朽化しています。これを建て替えをしなければならぬということになると、会員がややもすれば減少気味のこの状況で日本獣医師会の財政はどうあるべきか、私も平成15年から、日本獣医師会の組織財政委員会の副委員長を仰せつかり、6年間に渡り財政面で勉強させていただきました。当時の委員長は東京大学農学部長の林良博先生でした。現在、上野の国立科学博物館の館長をお勤め頂いている方があります。その当時は財源的にも恵まれた環境でありました。預貯金も十数億円ありました。今でもそのお金は藏内会長はじめ執行部がしっかりと守りながら会の運営を並々ならぬ努力でしていま

す。しかし、これからはこのお金をどう守ってどう会員のために使うかという、大きな舵取りが求められるのではないかと考えているところです。

このような現実の中で今年の4月4日、読売新聞に世界の狂犬病予防注射のワクチンの件につきまして、紙面全面に大きくワクチンの過去、現在、今後の見通しという記事が掲載され、ワクチンがこれからどうあるべきかという、ワクチン接種に対して否定的な大学教授の意見が紹介されていました。しかし、このような問題は、私も2年前に、大きな学術セミナーの研修会で同様の発表があったときに出席しており、この発表の重大性を直感し、日本獣医師会の理事会において、こういう記事が独り歩きをすると狂犬病の予防注射は必要ないということになり、国民に不安と動揺を与え、やがては混乱を来す。日本獣医師会は法律が存在する限り、国民に公益社団法人日本獣医師会として何らかの形でしっかりと必要性を訴えたらどうかと提案をさせていただき、蔵内会長、境専務が中心となり、会報に日本獣医師会の見解とワクチンの必要性について発表し、行政と連携を深めて協力に進めていくということを掲載していただきました。

そして先ほど獣医師連盟の総会で北村先生がおっしゃった政治の力によってマイクロチップの25年も議論された問題、そしてまた動物看護師の国家資格化がこの国会で審議されます。すべて議員立法であります。元農林水産副大臣、衆議院議員6期という輝かしい経歴をフル活用して活動をしていただき、我々としても感慨ひとしおであります。

現在、岐阜県、愛知県で発生が続く豚コレラは、以前はワクチンを使用していましたが、ワクチンを使用しないで清浄化を維持する方法を行政のお力添えと飼育者の努力によって確立したところがあります。しかし昨今は外国からあっという間に疾病が侵入してしまいます。今回の発生は未だに終息していません。こういうことを見ると狂犬病も安心してはいられません。このような問題もこれからの獣医師会は国民とともに検討する。我々は国民に対して、動物の健康を守り、人々が安心して安全に暮らせる社会を作るのであり、人が不安を感じながら動物と共生する社会を作ってはいけません。このように思っているところでもあります。

さらに現在は全国的に60%の動物病院が院長一人、スタッフ2～3人で経営しています。しかし昨今、総合病院、専門病院、夜間病院、往診専門などいろいろな動物病院の選択があります。その中でこれからも個人病院がどう生き残るか、どう飼育者から信頼されるか、そのためには、会員同士が専門的な先生方とネットワークをつくりながら、そして大学病院や専門病院と連携を深めながら、共に飼育者に信頼されるそれぞれが特徴を持った病院経営、これをするによって人と動物が安心して生活できる社会の構築に獣医師並びに獣医師会が生きる道があるのではないかと、こんなことも獣医師会で頑張っていきたいと思っています。

日本獣医師会の学会年次大会が来年2月に東京有楽町の国際フォーラムで開催されます。また関東の学会が10月に千葉で開催されます。そういう状況のなかで動物臨床医学研究所、日本動物病院協会、獣医内科学アカデミーなど大規模な研修会が開催されていますが、高額な参加費を求められています。その中で我が埼玉県獣医師会は僅かな額ではありますが、参加者への助成金を出させていただいています。例年6月には各大学が持回りで春季合同学会を大宮ソニックシティで開催していますが、今年は宗像先生や堅木先生など学会に関係している県内の先生方が中心となって開催されます。さいたま観光国際協会からも助成金を頂きながら続けられています。参加していただくと獣医師会から助成金が出ますので、6月16日にはぜひご参加いただければありがたいと思っています。

埼玉県獣医師会は日常の動物診療の面からも、さらには狂犬病予防注射の事故対策や狂犬病の認識を深めることにも力を入れています。今我々獣医師で狂犬病を実際に目で見ただけの人はいないと言っても過言ではありません。若い先生方はなおさら狂犬病を知りません。しかし、狂犬病はいつ発生してもおかしくありません。これほど医学が発達しても未だに予防法しかないことは大変大きな問題だと思えます。

そしてまた日常の診療でもトラブルが起きます。我々獣医師に責任がある場合もあるし、相手方に責任がある場合もあります。こういうときは対応の仕方の初動が一番大切です。速やかに弁護

士に相談し、対応をお願いする。そしてその費用は賠償責任保険で対応できるような、最少の経費で最大の効果が上がる保険制度が現在日本獣医師会の委員会で検討されており、来年には皆様が安心できるシステムが実現するのではないかと期待をしているところです。私も若かりし開業当時から諸先輩の助言をいただいて参加をし、現在も関係する委員会において重要なポストに関わっているところです。

いずれにいたしましても、日本獣医師会を始め、地方獣医師会も会員が減少し、これからの10年間は運営がむずかしい時代に突入すると思われま。会の発展のために、会員が一致協力していかなければなりません。また、本日は、獣医師として世のため人のため動物たちのために尽くそうという、希望に満ちた新入会員28名のための企画も用意しております。懇親会に先立って上田知事や、友好団体の埼玉県医師会金井会長からも激励の言葉をいただき、くす玉を割って、新会員の皆さんの前途を祝したいと思っています。

埼玉県獣医師会は、本日ご列席の行政の皆様方に更なるご指導をいただきながら日本一の獣医師会を目指して頑張ってまいりたい。私も決意を新たに、埼玉県獣医師会の先頭に立って頑張ることをここにお誓い申し上げまして。日頃のご協力への感謝と、お願いを込めたご挨拶にかえさせていただきます。本日はまことにご苦勞様でございます。よろしくご審議をお願いいたします。ありがとうございました。

(5) 議長選出

議事に先立ち、総合司会の大橋邦啓委員長から、本日午後2時30分現在の出席会員数は、本人出席204名、委任状提出者447名、合計651名で、定足数を満たしていることから、定款第17条の規定により本総会は成立している旨が報告された。

続いて議長等の選出方法を諮った。出席者からの「司会者一任」の声により、司会者が議長に佐藤剛先生（東支部）、副議長に野澤裕子先生（農林支部）を指名し、選任された。

また、総会運営委員として、総会運営規定第2条により各支部から推薦されている次の委員が紹介された。

さいたま市支部 西角井 開先生

南支部	中村 英次先生
西支部	内田 達男先生
北支部	山本 慎也先生
東支部	福田 博久先生
衛生支部	茂木 修一先生
農林支部	伊藤 麗子先生
団体支部	前原 信敏先生

議長及び副議長が登壇し、就任の挨拶と議事進行に対する協力を求め着席した。



円滑な議事運営に御協力頂いた
左から 議長の佐藤 剛先生、副議長の野澤裕子先生

(6) 議事録署名人の選出および書記の指名

議長は議事録署名人に根岸努先生（衛生支部）、渡辺喜正先生（農林支部）、また、書記に宇田川浩一先生（農林支部）、吉田輝美先生（農林支部）を指名した。

(7) 議事

報告事項 令和元年度事業計画および収支予算に関する件

本件について議長の求めに応じ、事務局 鴻巣泰専務理事が令和元年度事業計画および収支予算の概要を報告した。

議長は、事業計画および収支予算は理事会の決議事項であり、総会に報告することとされている旨を説明した上で、確認したい事項について発言を求めたところ、発言はなく、以上をもって本件報告は了承された。

決議事項

第1号議案 平成30年度事業報告の承認に関する件

議長は第1号議案を上程し、求めに応じて事務局 鴻巣泰専務理事が第1号議案の平成30年度事業内容を報告した。

議長が質疑を求めたところ質問・意見はなく、第1号議案平成30年度事業報告の承認について議場に諮ったところ拍手多数をもって本議案は承認された。

第2号議案 平成30年度決算の承認に関する件

議長は第2号議案を上程し、求めに応じて事務局 鴻巣泰専務理事が第2号議案の平成30年度決算について「貸借対照表」、「正味財産増減計算書」「同内訳表」、「財務諸表に対する注記」、「附属明細書」、および「財産目録」により説明した。



比留間一男監事による監査報告

次に、議長は監事に監査報告を求め、監事を代表して比留間一男監事（西支部）から平成30年度事業報告並びに計算書類およびその附属明細書、財産目録について平成31年4月24日に監査したところ適正であった旨が報告された。

議長が質疑を求めたところ質問・意見はなく、第2号議案平成30年度決算の承認について議場に諮ったところ拍手多数をもって本議案は承認された。

第3号議案 令和元年度会費（負担金）および入会金（案）に関する件

議長は第3号議案を上程し、求めに応じて事務局 鴻巣泰専務理事が会費および入会金は、ともに平成30年度と同額としたい旨を説明した。

議長が質疑を求めたところ質問・意見はなく、第3号議案令和元年度会費（負担金）および入会金の承認について議場に諮ったところ、拍手多数をもって本議案は原案のとおり可決決定された旨

を宣し（案）の削除を求めた。

第4号議案 令和元年度一時借入金の最高限度額および借入・預入先金融機関の決定に関する件

議長は第4号議案を上程し、求めに応じて事務局 鴻巣泰専務理事がそれぞれ平成30年度と同額としたい旨を説明した。

議長が質疑を求めたところ質問・意見はなく、第4号議案令和元年度一時借入金の最高限度額および借入・預入先金融機関の決定について議場に諮ったところ、拍手多数をもって本議案は原案のとおり可決決定された。

第5号議案 令和元年度役員報酬に関する件

議長は第5号議案を上程し、求めに応じて事務局 鴻巣泰専務理事が理事および監事の報酬の総額を590万円以内としたい旨を説明した。

議長が質疑を求めたところ質問・意見はなく、平成30年度役員報酬の決定について議場に諮ったところ、拍手多数をもって本議案は原案のとおり可決決定された。

第6号議案 役員を選任に関する件

議長は第6号議案を上程し、求めに応じ事務局 鴻巣泰専務理事が現在の理事および監事は本日の総会終了をもって任期満了となるので、次期役員について選任をお願いする旨を説明した。

議長は、各時期役員候補者それぞれについて賛否を諮ったところ、各役員候補者に対する異議はなく、次のとおり選任した。また、選任された役員全員は、即時、理事および監事の就任を承諾した。（選任された役員名簿）

役員名	氏名	所属	備考
理事	高橋 三男	さいたま市支部	重任
理事	中村 滋	東支部	重任
理事	小暮 一雄	西支部	重任
理事	高橋 一成	さいたま市支部	就任
理事	宗像俊太郎	南支部	就任
理事	別部 博司	西支部	重任
理事	大橋 邦啓	北支部	重任
理事	渋谷 正志	東支部	重任
理事	篠宮 哲彦	衛生支部	重任
理事	岩田 信之	農林支部	重任
理事	長峯 隆	団体支部	重任
理事	林 繁雄	農林支部	重任
理事	鴻巣 泰	農林支部	重任
監事	八木 賢裕	東支部	重任
監事	山中 利之	さいたま市支部	就任
監事	田中 裕	南支部	就任

続いて、付帯決議について、議長の求めに応じ、

事務局 鴻巣泰専務理事が説明した。議長が付帯決議を付すことについて諮ったところ異議はなく、拍手多数により承認された。

ここで議長は、全議案の審議の終了を宣し、議長及び副議長の任を解くとともに円滑な議事運営に関して謝辞を述べ降壇した。

(8) 祝寿表彰および記念品贈呈・功労会員証の贈呈

伊藤洋一委員（東支部）から米寿1名、喜寿4名、古希13名が紹介されそれぞれの代表者に高橋会長から祝寿表彰状及び記念品が贈呈された。

続いて功労会員11名が紹介され、同様、功労会員証および記念品が贈呈された。

また、全ての受賞者が起立する中で、代表して逸見明臣先生（農林支部）が謝辞を述べられた。



高橋三男会長による祝寿表彰
逸見明臣先生が受賞後謝辞を述べられた

謝 辞

受賞者を代表致しまして、一言御礼申し上げます。

只今は、第七十一回定時総会の席上におきまして、御来賓の方々、御臨席のもと、米寿、喜寿、古稀、功労と、それぞれ名譽ある賞を頂き、誠に身にあまり光栄であります。

私は埼玉県職員を定年退職後、埼玉県獣医師会の事務局にお世話になりました。初代の常勤理事として、常務理事を三年、専務理事を三年の六年間にわたり、高橋会長や五十嵐前会長に薫陶を受け、無事務めあげることができました。以来、本日まで、埼玉県獣医師会の一員として、高橋会長をはじめ、役員の方々、諸先生方からご支援とご指導を賜り心より感謝申し上げます。

私たちが受賞者一同は、今後とも本日の榮譽を忘れることなく、健康管理に努め、これからも埼玉県獣医師会の会員として、社会に貢献してまいりますので、なお一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

終わりに、公益社団法人埼玉県獣医師会の益々の御発展を祈念致しまして、受賞者を代表して、謝辞と致します。

令和元年六月五日

公益社団法人埼玉県獣医師会

農林支部 逸見明臣

(祝寿表彰者)

米寿	団体支部	小鷹 隆夫先生
喜寿	さいたま市支部	加藤 茂夫先生
		(代表受賞者)
	西支部	廣田 順子先生
	北支部	外園 孝二先生
	農林支部	逸見 明臣先生
古希	西支部	木村 初美先生
		小暮 一雄先生
	北支部	今井賢太郎先生
		(代表受賞者)

	衛生支部	中村 陽二先生
		大澤喜一郎先生
		川田 廣先生
		菊地 傑先生
		丸山 浩先生
	農林支部	山根 和男先生
	団体支部	永口 良雄先生
		富田 正夫先生
		原 望先生
		八木 洋子先生
(功労会員)	西支部	小暮 一雄先生

北支部	今井賢太郎先生 中村 陽二先生 (代表受賞者)
衛生支部	大澤喜一郎先生 川田 廣先生 菊地 傑先生 丸山 浩先生
農林支部	山根 和男先生
団体支部	富田 正夫先生 原 望先生 八木 洋子先生



御祝辞を頂いた
埼玉県農林部長 牧 千端様

(9) 退任役員への感謝状贈呈

続いて直井副委員長（さいたま市支部）から、本日をもって退任した比留間一男監事（西支部）が紹介され、高橋会長から感謝状が贈呈された。



高橋三男会長(中央)から退任された比留間前監事(右)に感謝状が贈呈された。左は花束を贈呈した新入会員の宇賀神ひかる先生(農林支部)

(11) 新入会員紹介

直井昌之委員（さいたま市支部）より、新入会員 16名の氏名が読み上げられ、紹介された。

(12) 来賓祝辞

大橋邦啓委員長の進行により、次の方々から御祝辞を頂いた。

埼玉県知事 (代理 農林部長 牧 千端様)	上田 清司様
埼玉県議会環境農林委員長	飯塚 俊彦様
日本獣医師会顧問	北村 直人様
埼玉県畜産会会長	坂本 富雄様
日本獣医師会専務理事	境 政人様



御祝辞を頂いた
埼玉県議会環境農林委員長 飯塚俊彦様



御祝辞を頂いた
日本獣医師会顧問 元衆議院議員
元農林水産副大臣 北村直人様

日本獣医師会顧問 北村直人様 祝辞

高橋会長はじめ埼玉県獣医師会の会員の皆様方、そして関係者の皆様方が健康で第71回定時総会を迎えられたこと、日本獣医師会を代表して心から祝意を申し上げるところでございます。本来なら藏内勇夫会長が参りまして御挨拶をするところでございますが、会長は地元での諸行事がござ

います。今日は顧問であります私が代表として派遣をされたところでございます。顧問の役目というのはどこでもそうだと思いますが、私の場合は日本獣医師会の藏内勇夫会長から色々なことで諮問があればそれに答申をするというのが最大の顧問としての役目でございます。そして日本獣医師会の運営あるいは、地方獣医師会が活躍できることに貢献していくのが顧問の役目だと思っております。この3期6年、私は藏内会長のもとで顧問を務め、また同時に全国会長会議常設議長として高橋三男会長には日本獣医師会が大変お世話になっています。そのことは埼玉県獣医師会会員の皆様方に大変藏内会長がお世話になっているということでもあります。重ねて会員の皆様方に心から感謝を申し上げ、埼玉県獣医師会と同じように、日本獣医師会も今年の6月25日をもって役員改選の時期でございます。皆様方の更なるお力添えを高橋会長を通じて日本獣医師会にお寄せいただくことを重ねてお願いを申し上げる次第でございます。

ここまでは顧問としての挨拶でございまして、もう一つは日本獣医師連盟の委員長としては今日皆様方に報告ということで、この通常国会に二つの議員立法がかかっております。一つは動物愛護法の改正、これはマイクロチップの義務化と獣医師が虐待を報告する義務化でございます。この二つが入った改正が明日の衆議院の本会議で可決される予定でございます。来週は参議院にまわって、参議院でも環境委員会、本会議で可決される運びになると100%私は信じております。もう一つは動物看護師の国家資格化、公的資格化、これについては与野党全党が愛玩動物看護師法という法律をつくらうということで、与野党が団結をして議員立法で提出をする。まずは衆議院の環境委員会に明後日、7日の金曜日に上程され、審議され、可決されるであろうと。そうしますと来週の火曜日の衆議院の本会議でこれが可決され、参議院に送られる。いずれも二つの法案がこの国会で成立をする見通しが非常に高くなった。ほぼ99.9%、よほど衆・参の解散が決まらない限りは廃案にはならないと、このように考えているところであります。二つとも我々獣医師にとってはなくてはならない、そしてまた獣医師が社会貢献をしていく大切な法案だとこのように思っているところでござ

います。皆様方の温かいご理解と、またこれからのご指導を切にお願いを申し上げます。次第でございます。

二つの立場から今日の定時総会で御挨拶をさせていただきました。今後とも埼玉県獣医師会がほんとうに健康で県民の皆様方に役立つ、そして貢献できる組織として皆様方のお力添えを高橋会長並びに役員の皆様方にお寄せいただくことを重ねてお願い申し上げまして、本日のお祝いのご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。



御祝辞を頂いた
埼玉県畜産会会長 坂本富雄様



御祝辞を頂いた
日本獣医師会専務理事 境 政人様

(13) 来賓紹介

大橋邦啓委員長が御来賓及び賛助会員を紹介した。

来賓

埼玉県農林部長	牧 千端様
埼玉県議会環境農林委員長	飯塚 俊彦様
日本獣医師会顧問	北村 直人様
日本獣医師会専務理事	境 政人様
埼玉県畜産会会長	坂本 富雄様

埼玉県農業共済組合組合長 井上 清様
 埼玉県養豚協会会長 加藤 健一様
 埼玉県農林部畜産安全課長 丸山 盛司様
 埼玉県保健医療部生活衛生課長 橋谷田 元様
 埼玉県環境部みどり自然課長 島田 厚様
 埼玉りそな銀行常務執行役員 宮崎 恒史様
 武蔵野銀行地域サポート部長 新井 康裕様
 テレビ埼玉プランニング営業部長

石川 祥生様
 さいたま観光国際協会副会長 清水志摩子様
 株式会社ヘリテージリゾート代表取締役社長

杉田 憲康様
 学校法人シモゾノ学園理事長 下園 蕙子様
 顧問弁護士 高橋 謙治様
 埼玉県中央家畜保健衛生所所長 岩田 信之様
 埼玉県川越家畜保健衛生所所長 堀井菜摘子様
 埼玉県熊谷家畜保健衛生所所長 野澤 裕子様
 埼玉県秩父高原牧場場長 宇田川浩一様
 埼玉県農業技術研究センター所長代理

原 裕様
 埼玉県食肉衛生検査センター所長
 市川 克己様
 埼玉県動物指導センター所長 篠宮 哲彦様
 さいたま市動物愛護ふれあいセンター所長
 太田 伸様

賛助会員

アクティ(株)常務取締役 久保 博巳様
 アクティ(株)動事業部さいたま第一営業所所長
 山崎 克明様
 (株)アスコ営業部取締役支店長 根岸 哲治様
 (株)アスコ大宮営業所所長 劔持 泰淳様
 森久保薬品(株)執行役員 小林絵梨子様
 森久保薬品(株)埼玉事業部事業部長
 川喜田哲哉様
 日本全薬工業(株)埼玉事業所所長 小川 勝様
 日本全薬工業(株)埼玉事業所副所長
 水戸 幸一様

(株)武蔵野ペット霊園代表取締役 山川 勝弘様
 (株)アサヒコミュニケーションズ会長
 新井 正敏様

(14) 閉会の言葉

小暮一雄副会長が総会運営に対するお礼を述べ、午後4時00分、閉会を宣言した。

新たな執行体制

総会終了後に臨時理事会が開催され、新たな代表理事（会長）および副会長、専務理事並びに部会長、委員長が次のとおり選定された旨、高橋三男会長から報告があり、それぞれが紹介された。

(1) 代表理事（会長）、副会長、専務理事

代表理事（会長） 高橋三男
 副会長 中村 滋
 副会長 小暮一雄
 専務理事 鴻巣 泰

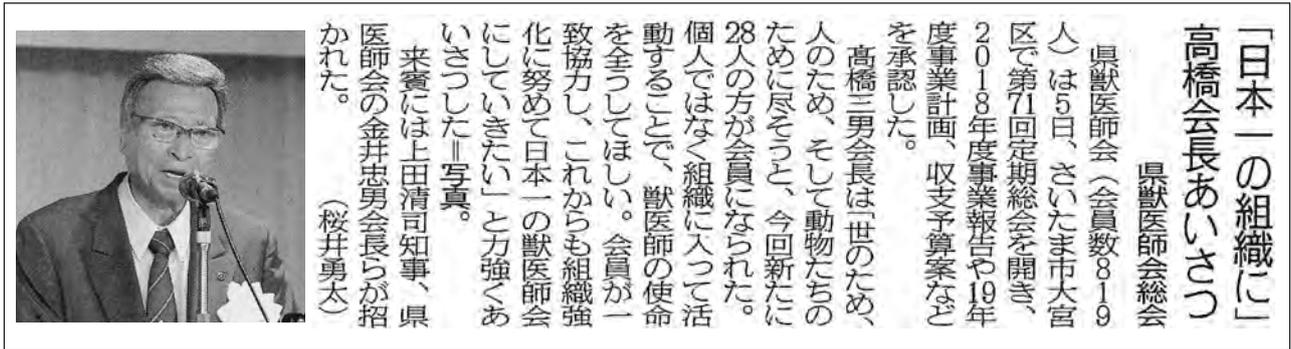
(2) 部会長、委員長

開業部会長 中村 滋 副会長
 勤務部会長 岩田 信之 理事
 開業部会第1運営委員会委員長
 中村 滋 副会長
 開業部会第2運営委員会委員長
 小暮 一雄 副会長
 勤務部会運営委員会委員長
 岩田 信之 理事
 総務委員会委員長 大橋 邦啓 理事
 獣医事調査委員会委員長 中村 滋 副会長
 学術委員会委員長 高橋 一成 理事
 狂犬病予防委員会委員長 渋谷 正志 理事
 厚生委員会委員長 別部 博司 理事
 情報検討委員会委員長 宗像俊太郎 理事

第71回通常総会出席者数(最終出席者)

支部名	さいたま市	南	西	北	東	衛生	農林	団体	合計
本人出席	40	25	29	25	49	25	31	13	237
委任状出席	21	44	32	29	29	98	88	106	447
合計	61	69	61	54	78	123	119	119	684

賛助会員 7社(10名)



令和元年6月7日 埼玉新聞

埼玉県獣医師会 新入会員の紹介

懇親会の開会前に新入会員の紹介と花束の贈呈が行われました。直井昌之委員(さいたま市支部)が出席された新入会員の先生を紹介。高橋三男会長から入会を祝して一人ひとりに花束を贈呈し、新入会員からは自己紹介をしていただきました。



後列左から 川手龍太郎（団体支部）、小暮一雄副会長、向出有毅（団体支部）、中村滋副会長、萩原悠介（衛生支部）、上田清司知事、成田将之（農林支部）、高橋三男会長、金井忠男埼玉県医師会会長、安川結夏子（農林支部）、村中志朗日本獣医師会副会長、横内一洋（東支部）、灰井康佑（東支部）、木村甲太郎（西支部）、小島航太（団体支部）
前列左から 菱沼健太（団体支部）、小林美樹（団体支部）、柴沼沙織（農林支部）、宇賀神ひかる（農林支部）、佐藤朗（東支部）、三浦広嗣（南支部）、筒井孝太郎（さいたま市支部）
（新入会員は敬称略）

壇上の新入会員に向け、上田清司知事、金井忠男埼玉県医師会会長、村中志朗日本獣医師会副会長（東京都獣医師会会長）からそれぞれ激励のことはいただきました。

高橋三男会長からは「素晴らしい先輩が皆さんの入会を心から祝福しています。先輩の指導をしっかり受けて、それぞれの地域に密着した信頼される獣医師としての人生を頑張っていたいただきたい。先輩の皆さんには時には厳しく、折に触れやさしく新入会員を育てていただくことを心からお願いします。」と歓迎のことが述べられました。

続いて柴沼沙織先生（農林支部）が「本日は多くのご来賓、先輩方に見守られるなか、たくさんの激励と高橋会長から心のこもった花束をいただきありがとうございます。公益社団法人埼玉県獣医師会に28名が新入会員として入会することができました。このように暖かく迎え入れていただき感謝申し上げます。獣医師の職域は広く諸先輩方は多方面で活躍されています。開業の先生方はペットを見守るホームドクターとして家族の一員である家庭動物の健康を支え、癒しと潤いのある豊かな生活の実現に取り組まれています。また私たち公務員は食の安全安心の確保、公衆衛生の向上、動物愛護、家畜衛生などを目指し国民の皆様のご期待に添えるように努めてまいりたいと思っています。懇親会を通じて幅広い分野で活躍される先生方と連携を深めるとともに、新入会員一同がそれぞれの立場で社会に貢献できるよう頑張りたいと思いますので、今後ともご指導ご鞭撻をお願いいたします。本日は新入会員である私たちをこのような大きな会場で盛大にお迎えいただきましたことに改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。」と誓いの言葉を述べられました。

その後、入会を祝して高橋会長、上田清司埼玉県知事、神尾高善埼玉県議会議長、高柳俊哉さいたま市議会副議長、北村直人日本獣医師会顧問、金井忠男埼玉県医師会会長、村中志朗日本獣医師会副会長とともに「記念撮影」と「くす玉割り」を行いました。くす玉の2本の紐が引かれると、中からは「入会おめでとう」の文字が現れ、満場の拍手が送られました。



入会を祝して行われたくす玉割り
高橋三男会長と来賓の皆様とともに

後列左 6人目から、神尾高善埼玉県議会議長、高橋三男会長、上田清司埼玉県知事、北村直人日本獣医師会顧問、金井忠男埼玉県医師会会長、村中志朗日本獣医師会副会長、高柳俊哉さいたま市議会副議長

(公社)埼玉県獣医師会 総会懇親会

懇親会は、第71回定時総会に引き続き、午後5時から上田清司埼玉県知事をはじめ多くの御来賓をお迎えして盛大に開催され、大橋邦啓総務委員長と林繁雄理事の司会により進行されました。



高橋三男会長の開会挨拶

(1) 会長挨拶

本日は埼玉県獣医師会の定時総会において全議案を原案どおり可決承認いただくとともに、私が改めて会長を拝命いたしました。中村、小暮副会長そして理事の皆さんとともに頑張っておりまますのでよろしくお願い申し上げます。また、本日御出席の上田清司埼玉県知事をはじめ多くの国会議員、県議会議員、さいたま市議会議員の先生方、埼玉県医師会会長、村中日本獣医師会副会長をはじめ関係各位のみなさま方には、日頃のご指導ご協力に心から感謝申し上げます。これから懇親の夕べでございます。みなさんと交流していただきますようお願いいたします。本日はありがとうございました。

(2) 来賓の祝辞

御出席を頂いた御来賓から御祝辞を頂きました。

埼玉県知事 上田清司様の御祝辞

令和元年、第71回定時総会後の恒例の新入会員の歓迎会、そしてまさしく高橋会長の企画、脚本、監督、主演男優そして総合司会というすばらしい運営のなかでこの懇親会が大変素晴らしいスタートをしていることを心からお慶び申し上げます。本席には古川俊治参議院議員をはじめ衆・参の国会議員の皆様方、神尾高善県議会議長をはじめ県議会議員の皆様方、また高柳俊哉副議長をはじめさいたま市議会議員の皆様並びに多くの来賓の皆様をお迎えして素晴らしい会になっていることを心からお慶びを申し上げます。

日頃は県政の場でまさに人と動物の共生、あるいは感染症対策、様々なところで獣医師会の先生方には色々な形でお世話になっているところがございます。豚コレラに見られますように、人類そのものは先進国では感染症対策はかなりの部分で

成功をおさめています、まだまだ動物に関しては課題が残っていますし、岐阜県、愛知県をはじめ大変困難な課題になってきています。アフリカ豚コレラも話題になってきています。色々な意味で獣医師会あるいは医師会の先生方のお力添えの中で県民の生活を守る仕掛けが必要になっているかと思っているところでもあります。

埼玉県の勢いが文字どおり獣医師会の勢いでもありますし、獣医師会の勢いが埼玉県の勢いにもつながっております。そうした勢いの話しはたくさんできるのですが、なんとなく時間が詰まっておりますので、以下省略ということでご挨拶にかえさせていただきます。ありがとうございます。



埼玉県知事 上田清司様

埼玉県議会議員 神尾高善様の御祝辞

先月の臨時議会におきまして第122代の議長を仰せつかりました、北4区、深谷市、美里町、寄居町から選出していただいております神尾高善でございます。どうぞよろしく願いいたします。今日は多くの県議会議員の皆様方がお招きをいただき、ここに出席をしていただいております。代表しまして私から一言ご挨拶を申し上げます。

高橋三男会長をはじめご参会の皆様におかれましては、動物の保健衛生、畜産業の発展、公衆衛生の向上など幅広い分野において多大なるご尽力を賜りましたこと、心から厚く御礼を申し上げるところでございます。

さて古来より人間は動物と深い関わりあいを

持って暮らしてきました。共に暮らすペットとして動物は私たちの心を和ませ、暮らしに潤いを与えてくれます。実は私も甲斐犬を飼っております。毎朝の散歩が心身のリフレッシュとなっております。また盲導犬や警察犬のように使役動物として人の作業を助けてくれるものもおります。あるいは家畜として卵や乳製品など様々な食品を生み出し、私たちの食卓を賑わしてくれます。しかし動物は時には感染症に罹患し、畜産業や食品の安全、人の健康に多大な影響を及ぼす危険性も持っております。昨年9月から岐阜県や愛知県を中心に豚コレラが発生しており、これまでに10万頭近い豚が処分されておりますが、未だに終息していない状況であります。また韓国など日本の近隣国において口蹄疫の発生が確認されており、日本に侵入するリスクが極めて高い状況であります。このような中、動物の健康を守るだけでなく、感染症の予防や食の安全確保を通じて人の健康を守ることに多大な貢献をされている獣医師の役割は極めて重要なものとなっております。県民からの期待も益々高まっていくものと存じます。皆様方におかれましては、引き続き獣医学術の研鑽、動物愛護思想の普及、そして環境衛生の向上にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。県議会といたしましても、福祉保健医療委員会・環境農林委員会における審査などとおし、人と動物が共生できる社会の推進や農畜産業の振興・発展に全力を尽くしてまいります。結びに公益社団法人埼玉県獣医師会の限りない発展にご参会の皆様方のご健勝、ご活躍を心からご祈念申し上げます。私からの挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。



埼玉県議会議員 神尾高善様

埼玉県獣医師連盟顧問 参議院議員 古川俊治様の御祝辞

獣医師会の先生方には平素から大変ご指導ご支援賜りましてありがとうございます。埼玉県獣医師連盟の顧問を務めさせていただいております参議院議員の古川でございます。今日は超党派でたくさんの方の国会議員をお招きいただいておりますが、私は医師でございまして依然から獣医師会とは人獣共通感染症等の問題で一緒に頑張っておりますのでご挨拶をさせていただきます。

この国会におきましても超党派で動物愛護法の改正そして動物看護師の資格を国家資格化するという二つの法案が今月中に通過する目途になっております。動物愛護法の改正は飼育環境を厳しくしていくこと、販売動物の業者への登録制や犬と猫へのマイクロチップの装着を義務化したり、56日齢以下のペットの販売禁止、飼育環境の改善が盛り込まれまして、特に虐待に対しては刑罰を厳しくしている点もあります。こういったことは国民の愛玩動物に対する愛着の現れでありまして、獣医師の先生方にも今後、心して頑張りたいと思っています。同時に動物看護師の国家資格化というのは、大事なペットをより専門的に高度な医療でみていただきたいという流れの一つでございまして、今、医療技術も上がってきているところでございますが、より国民の皆様のために診療に頑張りたいと思っています。

先ほど上田知事がお話しをしましたが、医者の方から申し上げますと先進国でも感染症は怖いんです。やはり一番気になっていましては鳥インフルエンザですとか最近ではデング熱あるいはSARSなど問題になりましたけれどもこれから感染症で特に問題になるものは、人獣共通感染症でそれが変異が大きいウイルス性の疾患で、動物から人へ感染していたものが人から人へ感染するようになる、そして強毒性になった場合にはこれが一番怖い事態でございまして、いつそういう事態になるか、これはしっかりサーベイランスを行い徹底した予防が必要になってくるということで、今後も引き続き獣医師会の先生方と医療について連携が必要であると認識しております。もちろん食肉の衛生の問題、これは獣医師会の先生の方にかかっているわけでございまして、豚コレラも色々問題になりましたけれども、こうした予防のやり方あるいは食肉衛生の日本の中での持っていく方、こういったことを議員のほうでもより勉強させていただきまして、現場の先生方にぜひご指導をいただきながら今後も政策作りに反映させて行きたいと思っています。埼玉県獣医師会は今、全国一というお墨付きを頂きましたので、ぜひ今後も国民のために、そしてペットのために頑張りたいと思っています。引き続きのご指導ご支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。ほんとうにありがとうございました。本日はおめでとうございます。



自由民主党埼玉県支部連合会副会長
自由民主党獣医師問題議員連盟
埼玉県獣医師連盟顧問
慶應義塾大学法科大学院教授
慶應義塾大学医学部教授
参議員議員 古川俊治様

(3) 乾杯

乾杯の御発声は、埼玉県医師会の金井忠男会長
をお願いいたしました。公益社団法人埼玉県獣医
師会のますますの発展とご臨席の方々のご健勝と
ご活躍を祈念して、大きく乾杯いたしました。



埼玉県医師会会長 金井忠男様

(4) 来賓の祝辞並びに紹介
国会議員の皆様の紹介

御出席の国会議員の先生方にそれぞれ御祝辞を
頂きました。



衆議院議員 牧原秀樹様



衆議院議員 野中 厚様



衆議院議員 森田俊和様



参議院議員 大野元裕様

御出席された国会議員の先生方（選挙区順）

衆議院議員	村井英樹 様 (埼玉第1区)	衆議院議員	土屋品子 様 (埼玉第13区)
衆議院議員	新藤義孝 様 (埼玉第2区)	衆議院議員	三ツ林裕巳様 (埼玉第14区)
衆議院議員	黄川田仁志様 (埼玉第3区)	衆議院議員	田中良生 様 (埼玉第15区)
衆議院議員	穂坂 泰 様 (埼玉第4区)	衆議院議員	牧原秀樹 様 (比例区)
衆議院議員	枝野幸男 様 (埼玉第5区)	衆議院議員	中根一幸 様 (比例区)
衆議院議員	大島 敦 様 (埼玉第6区)	衆議院議員	小宮山泰子様 (比例区)
衆議院議員	神山佐市 様 (埼玉第7区)	衆議院議員	森田俊和 様 (比例区)
衆議院議員	柴山昌彦 様 (埼玉第8区)	参議院議員	大野元裕 様 (埼玉選挙区)
衆議院議員	大塚 拓 様 (埼玉第9区)	参議院議員	関口昌一 様 (埼玉選挙区)
衆議院議員	山口泰明 様 (埼玉第10区)	参議院議員	西田実仁 様 (埼玉選挙区)
衆議院議員	野中 厚 様 (埼玉第12区)	参議院議員	古川俊治 様 (埼玉選挙区)
		合計	22 名

埼玉県議会議員の皆様を紹介

御出席の埼玉県議会議員の先生方にそれぞれ御祝辞を頂きました。



環境農林委員長
飯塚俊彦様



福祉保健医療委員長
宇田川幸夫様



自民党県議会議員団長
小島信昭様



宮崎栄次郎様



石渡 豊様



蒲生徳明様



鈴木正人様



岡 重夫様



齊藤邦明様



白戸幸仁様



岡地 優様



小川真一郎様



立石泰広様



関根信明様



柿沼貴志様



高木功介様



千葉達也様



井上將勝様



高木真理様



浅野目義英様



藤井健志様



町田皇介様

(写真は御挨拶順)

御出席された埼玉県議会議員の先生方（選挙区順）

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 蒲生徳明 様（南1区 草加市） | 岡地 優 様（南14区 桶川市） |
| 立石泰広 様（南2区 川口市） | 鈴木正人 様（南17区 志木市） |
| 高木真理 様（南4区 さいたま市北区） | 齊藤邦明 様（北3区 本庄市・神川町・上里町） |
| 関根信明 様（南4区 さいたま市北区） | 飯塚俊彦 様（北3区 本庄市・神川町・上里町） |
| 藤井健志 様（南5区 さいたま市大宮区） | 小川真一郎様（北4区 深谷市・美里町・寄居町） |
| 田村琢実 様（南6区 さいたま市見沼区） | 神尾高善 様（北4区 深谷市・美里町・寄居町） |
| 井上將勝 様（南6区 さいたま市見沼区） | 杉田茂実 様（北5区 熊谷市） |
| 高木功介 様（南9区 さいたま市浦和区） | 柿沼貴志 様（東1区 行田市） |
| 浅野目義秀様（南9区 さいたま市浦和区） | 千葉達也 様（東3区 加須市） |
| 宮崎栄治郎様（南10区 さいたま市南区） | 岡 重夫 様（東6区 白岡町・宮代町） |
| 小島信昭 様（南12区 さいたま市岩槻区） | 白土幸仁 様（東7区 春日部市） |
| 石渡 豊 様（南13区 上尾市・伊奈町） | 美田宗亮 様（東10区 三郷市） |
| 町田皇介 様（南13区 上尾市・伊奈町） | 合計 25 名 |

急遽欠席となりましたが、ご協力頂いた埼玉県議会議員の先生

中屋敷慎一様（南16区 鴻巣市）

さいたま市議会議員の皆様の紹介

御出席のさいたま市議会議員の先生方にそれぞれ御祝辞を頂きました。



舞台上左から 高野秀樹様(副議長)、阪本克己様、萩原章弘様、伊藤 仕様、桶本大輔様、高野秀樹様、新藤信夫様、武田和浩様、新井森夫様

御出席されたさいたま市市議会議員の先生方 (選挙区順)

- | | |
|--------------|--------------|
| 伊藤 仕様 (北区) | 桶本大輔 様 (南区) |
| 新藤信夫 様 (大宮区) | 萩原章弘 様 (南区) |
| 武田和浩 様 (見沼区) | 神崎 功 様 (緑区) |
| 高柳俊哉 様 (中央区) | 新井森夫 様 (岩槻区) |
| 坂本克己 様 (桜区) | 江原大輔 様 (岩槻区) |
| 青羽健仁 様 (浦和区) | 高野秀樹 様 (岩槻区) |

合計 12 名

引き続き、御来賓からの御祝辞を頂きました。



牧千端埼玉県農林部長



細田眞由美さいたま市教育長



野口仁史白岡市副市長



右から 佐伯鋼兵 埼玉県商工会議所連合会会長
清水志摩子 さいたま観光国際協会会長



境 政人 日本獣医師会専務理事



井上 清 埼玉県農業共済組合組合長



下藺恵子 シモゾノ学園理事長



右から 坂本富雄 埼玉県畜産会会長、加藤健一 埼玉県養豚協会会長



右から 埼玉りそな銀行常務執行役員宮崎恒史様、武蔵野銀行地域サポート部長新井康裕様、日本政策金融公庫さいたま支店国民生活事業統轄山口 栄様



賛助会員の皆様

右から アクティ(株)山崎克明所長様、(株)アスコ根岸哲治支店長様、剣持泰淳所長様、森久保薬品(株)小林絵梨子執行役員様、川喜田哲哉部長様、日本全薬工業(株)水戸幸一副所長様、(株)アサヒコミュニケーションズ新井正敏会長様

(5) 祝電の披露

(株)武蔵野銀行頭取

加藤喜久雄 様

司会者から次の皆様から頂いた祝電・メッセージが披露されました。

参議院議員	関口 昌一 様
衆議院議員	中根 一幸 様
衆議院議員	小宮山泰子 様
参議院議員	羽生田 俊 様
埼玉県議会議員	中屋敷慎一 様
埼玉県議会議員	日下部伸三 様
埼玉県市長会会長(熊谷市長)	富岡 清 様
さいたま市長	清水 勇人 様
川越市長	川合 善明 様
川口市長	奥ノ木伸夫 様
加須市長	大橋 良一 様
北本市長	三宮 幸雄 様
三郷市長	木津 雅晟 様
ふじみ野市長	高畑 博 様
埼玉県歯科医師会会長	島田 篤 様
埼玉県酪農協会会長	高田 茂 様
埼玉県養鶏協会会長	栗原 桂一 様
埼玉県肉用牛経営者協会会長	植井 敏夫 様
(株)埼玉りそな銀行代表取締役社長	池田 一義 様

(6) 締め

宴もたけなわとなり恒例となりました中村滋副会長によるエールの後、丸山盛司埼玉県農林部畜産安全課長、橋谷田元埼玉県保健医療部生活衛生課長、島田 修埼玉県環境部みどり自然課長、根岸章王埼玉県食品安全局長による手締めが行われました。



左から 丸山盛司畜産安全課長、根岸章王食品安全局長、島田厚みどり自然課長、橋谷田元生活衛生課長

(7) 閉会

閉会にあたり八木賢裕監事が御参加いただいた方々に御礼を述べ、懇親会は午後7時に散会となりました。

埼玉県獣医師連盟総会開催

令和元年6月5日（水）、埼玉県獣医師会第71回定時総会に先立ち、午後1時20分から、さいたま市「清水園」で開催されました。

長谷川繁雄理事の司会により、中村滋副理事長の開会の言葉、高橋三男理事長の挨拶、日本獣医師連盟の北村直人委員長の祝辞の後に、議事に入りました。

議事は、大橋秀樹議長（東支部）、田中裕副議長（南支部）により進められました。第1号議案「平成30年事業報告および収支決算承認に関する件」が上程され、事務局 鴻巣泰理事が説明し、新井宣明監事による監査報告の後、議長が質疑を求めたが、質問・意見はなく、本件の承認について諮ったところ拍手多数により原案のとおり承認されました。

続いて、第2号議案「令和元年度事業計画及び会費徴収（案）に関する件」が上程され、事務局説明の後、議長が質疑を求めたが質問・意見はなく、本件の決定について諮ったところ拍手多数により原案のとおり可決決定されました。

続いて、第3号議案「役員改選に関する件」が上程され、事務局説明の後、議長が質疑を求めた質問・意見はなく、本県の決定について諮ったところ拍手多数により原案通り可決決定されました。

以上をもって議事は終了し、議長、副議長は円滑な議事運営に御礼を述べ、小暮一雄副理事長の開会の言葉をもって、午後2時00分、閉会となりました。

会務報告

第2回 総務委員会

令和元年6月5日（水）午後11時20分から、さいたま市「清水園」において、次の事項を協議した。

1 会長挨拶

本日の総会が円滑に運営できるようよろしくお願ひしたい。

2 協議事項

(1) 第71回定時総会について

総会の進行計画上の注意点について協議し、手順の最終確認を行った。

(2) その他

第2回 理事会

令和元年6月5日（水）午後0時から、さいたま市「清水園」において、次の事項を審議した。

1 会長挨拶

先ほど総務委員会を開催し、本日の総会の運営方法について協議していただいた。理事の皆さんには総会の円滑な運営に協力をお願いしたい。

2 決議事項

第1号議案 新入会員の承認に関する件

第1回理事会以降に入会申込のあった団体支部4名の入会の可否について諮り、異議なく全員の入会が承認された。

第2号議案 役員候補者の選出に関する件

役員候補者（理事13名、監事3名）が示され、諮ったところ、異議なく全員が承認されたので総会に提出することとした。

3 協議事項

(1) 第71回定時総会の運営について

総会の運営計画及び役割分担などについて協議し了承された。

(2) その他

現時点における令和元年度集合狂犬病予防注射の実施状況について報告した。

臨時理事会

令和元年6月5日（水）午後3時05分、さいたま市「清水園」において理事13名（総理事数13名）及び八木賢裕監事、山中利之監事、田中裕監事出席のもとに、理事会を開催し、次の事項を審議した。

1 審議事項

(1) 代表理事（会長）、副会長、専務理事選定の件

理事高橋三男が議長となり、代表理事（会長）高橋三男及び副会長中村 滋、副会長小暮一雄、専務理事鴻巣泰が理事の任期満了により退任することとなるので、改めて当法人の代表理事（会長）及び副会長、専務理事の選定について審議したところ、全員一致をもって、次のとおり選定した。なお、被選定者は、その就任を承諾した。

代表理事（会長）	高橋三男
副会長	中村 滋
副会長	小暮一雄
専務理事	鴻巣 泰

(2) 各部部长並びに各委員長選定の件

議長は、各部部长並びに各委員長の選定を協議したところ、全員一致をもって、次のとおりとなった。なお、被選定者は、席上その就任を承諾した。

開業部部长	中村 滋	副会長理事
勤務部部长	岩田 信之	理事
開業部会第1運営委員会委員長	中村 滋	副会長理事
開業部会第2運営委員会委員長	小暮 一雄	副会長理事
勤務部会運営委員会委員長	岩田 信之	理事
総務委員会委員長	大橋 邦啓	理事
獣医事調委員会委員長	中村 滋	理事
学術委員会委員長	高橋 一成	理事
狂犬病予防委員会委員長	渋谷 正志	理事
厚生委員会委員長	別部 博司	理事
情報検討委員会委員長	宗像俊太郎	理事

予 告

東支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(1) 小2(2))

東支部長 渋谷 正志
 学術委員 田口 修

東支部では、9月1日(日)神野 信夫先生(日本獣医生命科学大学 獣医外科学研究室 助教)をお招きし、麻酔学「周術期のモニタリング」と題して学術講習会を開催いたします。

神野先生からの一言：

手術を実施する際は、その規模にかかわらず全身麻酔が必要となります。全身麻酔下の動物の安全を守るためには、麻酔深度の適切な維持と、恒常性の維持が必要です。これらを看視するためのツールとして、麻酔モニタが使用されています。麻酔モニタを使用することにより循環、酸素化、換気、体温、筋弛緩などを客観的な数値として把握することが可能となります。最近の機器は様々な数値および波形が描出され、そのすべての意味を理解・把握することは容易ではありません。

SpO₂波形の意味？そもそもその呼び名は？

EtCO₂波形の変化の意味は？

その血圧、本当に正確？

これらの問いに答えるためには、各測定項目の測定原理、そして解釈をいまいちど整理する必要があります。今回の講習会では日々の臨床で使用されているモニタを正しくそして全ての機能を使いこなすための情報をまとめてお届けできればと考えております。多くの先生の参加をお待ちしています。

日 時：令和元年9月1日(日)

14：30～18：00頃(受付14：00～)

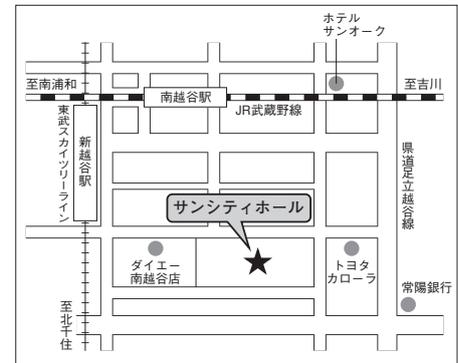
※講演内容、休み時間などで多少前後いたします。

場 所：越谷サンシティ

越谷市南越谷1-2876-1

TEL 048-985-1111

演 題：麻酔学「周術期のモニタリング」



講 師：日本獣医生命科学大学 獣医外科学研究室 助教 神野信夫先生

参加費：埼玉県獣医師会会員 1,000円(シラバス代、飲み物代含む)

会員以外の受講者 5,000円(シラバス代、飲み物代含む)

新入会員報告

新 入 会 員



つつい こうたろう
筒井 孝太郎
さいたま市支部



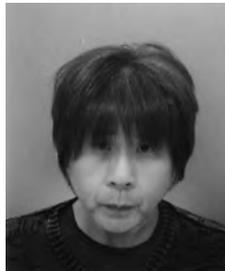
おざわ だいすけ
小澤 大助
西支部



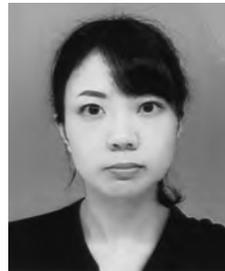
きむら こうたろう
木村 甲太郎
西支部



はいい こうすけ
灰井 康佑
東支部



よこうち いちよう
横内 一洋
東支部



ほりかわ りな
堀川 里菜
団体支部



きくち こずえ
菊地 梢
団体支部

開業部会

支 部 名	氏 名	診療所所在地・名称
さいたま市	筒井 孝太郎	さいたま市・浦和 動物の病院
西	小澤 大助	飯能市・みすゞ台動物病院
西	(転入) 木村 甲太郎	入間市・ノダ動物病院
東	(転入) 灰井 康佑	三郷市・とがさき動物病院
東	横内 一洋	八潮市・あーす動物病院

勤務部会

支 部 名	氏 名	診療所所在地・名称
団体	堀川 里菜	加須市・高橋動物病院
団体	菊地 梢	久喜市・たぐち動物病院

第146回 埼玉県獣医師会ゴルフ同好会コンペ結果報告

幹事 岡本 誠之助
増田 淳

梅雨真ただち中の6月20日（木）、大宮ゴルフコースにおいて、第146回埼玉県獣医師会ゴルフ同好会コンペが開催されました。

当日は、幸運にも、日差しが出る気持ちの良いコンディションの中、28名の参加者が和気あいあいと日頃の練習の成果を発揮していました。

成績は、以下のとおりです。

	氏名(所属)	ネットスコア
優勝	高野辺智和さん(賛助会員)	73
準優勝	増田 淳先生(衛生支部)	73
第3位	森田 良先生(東支部)	74

※：同ネットの場合は年齢順

ベストグロス 増田 淳先生（衛生）79



左から 3位の森田良先生、準優勝の増田淳先生、優勝した高野辺智和さん、長谷川繁雄会長

次回は、9月26日（木）川越カントリークラブにおいて、開催予定です。

ゴルフに興味のある方、初心者の方も是非一度ご参加ください。



当日の参加者一同

お知らせ

2019年度関東・東京合同地区獣医師大会・三学会開催案内

主催 千葉県獣医師会

区分	関東・東京合同地区 獣医師大会・交流会	日本産業動物 獣医学会	日本小動物 獣医学会	日本獣医公衆 衛生学会	
日時	令和元年10月27日 13:00～19:30	令和元年10月27日 午前の部 10:00～12:00 午後の部 14:15～16:15			
大会会長 分野別地区 学会長	関東地区獣医師会連合会 会長 市川 陽一朗	東京農工大学 白井 淳資	日本獣医生命科学大学 小山 秀一	日本大学 丸山 総一	
会場	幕張メッセ国際会議場 千葉市美浜区中瀬2-1 TEL:043-296-0001				
	2階	2階 201	3階 301、302	3階 303	
次第	<p>[大会]</p> <p>1 開会の辞 2 黙祷 3 獣医師大会会長挨拶 4 獣医事功績者表彰 5 受賞者代表謝辞 6 来賓祝辞 7 議長選出 8 議事 (1)平成30年度経過報告 (2)議案 9 大会宣言 10 次期開催担当県会長挨拶 11 閉会の辞 コンベンションホールB 13:00～14:00</p>	<p>[三学会]</p> <p>1 開会の辞 2 分野別地区学会長 挨拶 3 学会・発表 4 審査委員会 5 閉会の辞 6 優秀演題発表者 表彰 (交流会席上にて実施)</p>	<p>[講演申込み要領]</p> <p>1 提出先：公益社団法人千葉県獣 医師会 2 演題・抄録提出期限： 2019年6月28日(金) 3 提出方法：所属地方獣医師会を 經由 4 演題：口演8分/質疑応答2分 5 原稿執筆要領：別紙 6 審査員：幹事・学識経験者の中 から地区学会長に選任 された者 7 参加費：6,000円(昼食・抄録代) 8 交流会：7,000円</p>		
	<p>[市民公開講座]</p> <p>演題：腸内環境とアレルギー や糖尿病などの病気との関 わり！ 講師：理化学研究所 大野博司先生 コンベンションホールB 14:30～16:30</p>	<p>※学会発表順序、演題は演者の都合により変わることがあります。 ※三学会は学術講演とともに、獣医師生涯研修事業のポイント 取得対象プログラムとして、参加者にポイントが付与されま す。</p>			
	<p>[大抽選会]</p> <p>ロビー 16:40～17:30</p>				
	<p>[交流会]</p> <p>国際会議室 17:30～19:30</p>				

【タイムスケジュール】

9:00～	10:00～ 12:00	12:00～ 13:00	13:00～ 14:00	14:15～ 16:15	14:30～ 16:30	17:30～ 19:30
受付	三学会	昼食	大会	三学会	市民公開講座	交流会
	動物用医薬品・機器等展示 2階 コンベンションホールA 10:00～16:00					

《参加申込の方法》

本大会・学会への参加は、事前登録することとなっております。参加を希望される方は、8月7日（水）までに、下記事項（お知らせいただく内容）を埼玉県獣医師会事務局までお知らせください。当日登録も可能ですが、極力、事前登録をお願いします。

なお、「大会・学会参加費（6,000円）」及び「交流会参加費（7,000円）」は全て本会が負担するので参加者負担金はございません。

《お知らせいただく内容》

- ・氏名
- ・所属支部
- ・参加区分
- ①「大会・学会」と「交流会」に参加
- ②「大会・学会」のみに参加
- ③「交流会」のみに参加

《連絡先》

埼玉県獣医師会 事務局

住所：〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町
1-340（埼玉県農業共済会館内）

TEL：048-645-1906

FAX：048-648-1865

Eメール：s-vma@vesta.ocn.ne.jp

広告

63年の歴史を持つ動物の総合専門学校

～1956年創業 犬の店「青山ケンネル」から続く歴史～

国際動物専門学校

（東京校）

- 🐾 動物看護・理学療法学科
- 🐾 動物看護・栄養学科
- ✂️ 美容・デザイン学科
- 🐾 自然環境・動物飼育学科
- 🐾 しつけ・トレーニング学科

大宮国際動物専門学校

（大宮校）

- 🐾 動物看護・栄養学科
- 🐾 動物看護・エキゾチックペット学科
- ✂️ 美容・デザイン学科
- ✂️ 美容・スモールペット学科
- 🐾 国際海洋・飼育学科
- 🐾 Dogトレーナー学科



学校法人 シモソノ学園

国際動物専門学校

大宮国際動物専門学校

動物看護師統一認定資格

2018年度合格率

◆東京校

98.5%

（合格者65名、不合格者1名）

全国合格率：**86.5%** 受験者数：2,333名、合格者数：2,017名

◆大宮校

95.9%

全国の平均を

東京校 約12%、大宮校 約10%上回る高実績！



《国際動物専門学校》

〒154-0011 東京都世田谷区上馬
4-3-2

TEL：03-5430-4400

MAIL：kokusai-doubutsu@iac.ac.jp

《大宮国際動物専門学校》

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町
2-289-2

TEL：048-648-8400

MAIL：omiya-kokusai@iac.ac.jp

事務連絡

令和元年6月11日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会

専務理事 境 政 人

動物用医薬品等取締規則の一部を改正する省令の制定について

このことについて、令和元年5月24日付け事務連絡をもって、農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課課長補佐から、別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、別紙事務連絡のとおり動物用医薬品等取締規則の一部を改正する省令（令和元年農林水産省令第3号）が公布・施行され、ロキベトマブ（遺伝子組換え）を有効成分とする製剤が製造販売承認されることに伴う改正内容について本会に連絡されたものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

事務連絡

令和元年6月12日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会

専務理事 境 政 人

食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件及び食品衛生法第11条第3項の規定により人の健康を損なうおそれのないことが明らかであるものとして厚生労働大臣が定める物質の一部を改正する件について

このことについて、令和元年5月31日付け事務連絡をもって、農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課課長補佐から、別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、厚生労働大臣官房生活衛生・食品安全審議官より食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件及び食品衛生法第11条第3項の規定により人の健康を損なうおそれのないことが明らかであるものとして厚生労働大臣が定める物質の一部を改正する件の公布について通知されたものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

※別添省略

元日獣発第81号

令和元年6月24日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会

会長 藏 内 勇 夫

(公印及び契印の押印は省略)

飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令等の一部改正について

このことについて、令和元年5月31日付け31消安第165号をもって、農林水産省消費・安全局長から、別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、グアニジノ酢酸を飼料添加物として新規指定し、フィターゼの規格・基準を改正するため、飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律の規定に基づき飼料添加物を定める件（昭和51年7月24日農林省告示第750号）を一部改正することについての周知徹底を依頼されたものです。

つきましては、貴会関係者に周知方よろしくお願いいたします。

令和元年度埼玉県獣医師会学術広報版

(令和元年6月20日現在)

年月日	産業動物	小動物	公衆衛生
4月			
5月			
6月14日(金) ～16日(日)	第98回日本獣医麻酔外科学会/第110回日本獣医循環器学会/第65回日本獣医画像診断学会 2019春季合同学会 (さいたま市 大宮ソニックシティ)		
7月15日 (月・祝)		東支部 「ふだんは治療がうまくいくけど、たまに 痛い目に遭うことがある犬の肥満細胞腫 アップデート」 日本小動物医療センター 小林哲也 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
8月			
9月1日(日)		東支部 「麻酔学；周術期のモニタリング」 日本獣医生命科学大学 神野 信夫 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
10月18日(金)	北支部 「産業動物診療を基礎から見直そう」 麻布大学 佐藤礼一郎 先生 (熊谷市 熊谷家畜保健衛生所)		
10月20日(日)		西支部 「演題 未定」 日本獣医生命科学大学 宮川 優一 先生 (川越市 川越南文化会館)	
10月27日(日)	2019年度 関東・東京合同地区獣医師大会(千葉)獣医学術関東・東京合同地区学会 (千葉市 幕張メッセ)		
10月			
11月24日(日)		西支部 「演題 未定」 日本小動物医療センター 小野 啓 先生 (川越市 川越南文化会館)	
12月8日(日)		東支部 「犬のクッシング症候群」 まつき動物病院 松木 直章 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
12月	農林支部 令和元年度埼玉県家畜保健衛 生業績発表会		
令和2年 1月26日(日)		西支部 「演題 未定」 東京大学 大野 耕一 先生 (川越市 川越南文化会館)	
2月			衛生支部 健康福祉研究発表会 食肉衛生技術研修会
2月7日(金) ～9日(日)	2019年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会(東京) (東京国際フォーラム)		
2月16日(日)		西支部 「演題 未定」 日本獣医生命科学大学 水越 美奈 先生 (川越市 川越南文化会館)	
3月			

事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vma.org/>

ID：SVMA（半角・大文字） パスワード：MITSUO（半角・大文字）

- | | | | |
|-----------|---|---------|--|
| 5月21日 | 西支部総会(東松山市 紫雲閣東松山) | 7月28日 | 北支部学術講習会・納涼会(深谷市 埼玉グランドホテル深谷) |
| 5月21日 | 埼玉県畜産会理事会(熊谷市 ホテルヘリテイジ) | 9月1日 | 東支部学術講習会(越谷市 越谷サンシティ) |
| 5月26日 | 東支部総会(越谷市 越谷サンシティ) | 9月4日 | 畜産懇話会(さいたま市 有朋会館) |
| 5月26日 | さいたま市支部総会(さいたま市 ホテルブリランテ武蔵野) | 10月4日 | 令和元年度全国獣医師会会長会議(東京都港区 明治記念館) |
| 5月26日 | 南支部総会(川口市 川口総合文化センターリリア) | 10月5日 | 2019動物感謝デーin JAPAN(東京都世田谷区 駒沢オリンピック記念公園) |
| 5月29日 | 北支部総会(深谷市 埼玉グランドホテル深谷) | 10月14日 | ソフトボール大会(さいたま市 大宮けんぼグラウンドSフィールド) |
| 6月5日 | 埼玉県獣医師会第71回定時総会(さいたま市 清水園) | 10月18日 | 北支部学術講習会(熊谷市 熊谷家畜保健衛生所) |
| 6月6日 | 埼玉県畜産会総会(熊谷市 ホテルヘリテイジ) | 10月20日 | 西支部学術講習会(川越市 川越南文化会館) |
| 6月13日 | 埼玉県農業共済組合第3回通常総代会(吉見町民会館フレサよしみ) | 10月27日 | 2019年度関東・東京合同地区獣医師大会(千葉)、獣医学術関東・東京合同地区学会(千葉県千葉市 幕張メッセ) |
| 6月14日～16日 | 春季合同学会(さいたま市 大宮ソニックシティ) | 11月24日 | 西支部学術講習会(川越市 川越南文化会館) |
| 6月21日 | 関東しゃくなげ会第40回研修会(東京都 上野精養軒) | 12月8日 | 東支部学術講習会(越谷市 越谷サンシティ) |
| 6月25日 | 第76回日本獣医師会通常総会(東京都港区 明治記念館) | 1月26日 | 西支部学術講習会(川越市 川越南文化会館) |
| 6月26日 | 埼玉県狂犬病予防協会役員会(さいたま市 ときわ会館) | 2月7日～9日 | 2019年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会(東京都千代田区 東京国際フォーラム) |
| 7月12日 | 全国獣医師会事務事業推進会議(東京都 明治記念館) | 2月16日 | 西支部学術講習会(川越市 川越南文化会館) |
| 7月15日 | 東支部学術講習会(越谷市 越谷サンシティ) | | |
| 7月21日 | 第2回関東・東京合同地区理事会、幹事会(千葉県千葉市 CHIBASKY WINDOWS東天紅) | | |
| 7月25日 | 埼玉県狂犬病予防協会総会(さいたま市 さいたま商工会議所会館) | | |

編集後記

紫陽花の開花とともに梅雨前線がやって来ました。梅雨前線を天気図で眺めていると、稲作の伝来やわれわれの先祖の列島への渡来を重ねて想像してしまいます。お米の故郷であるインドシナ半島と同様の地形条件を作ろうと、古代より田に水を引き入れ、水田を作ってきました。鉄器の無い時代は、山から落ちてくる水を受けるように巾着田を作りました。関東地方の我らが先祖は、高句麗や新羅から渡来し、百済から渡来した人々が開いた近畿地方から遠い地域とされた近江、さらに遠方の駿河湾沿岸地域から関東へと渡来定住の地を求めて武蔵の地に落ち着きました。先住した百済の人々もその王朝のルーツは遊牧騎馬民族の扶余族と言われ、朝鮮半島における王朝の興亡により列島に渡来したと言われています。高松塚古墳の極彩色の壁画を描いた人々は、高句麗系の人々と推定されています。遅れて渡来した高句麗系の人々は8世紀に現在の埼玉県日高市に高麗郡が置かれ集められ定着したようです。関東地方各地に残る朝鮮半島由来の地名一高句麗系の神奈川県の高座郡、各地にある高倉、狛江市、新羅系の志木市や新座市一にその名残をみることができます。

閑話休題。G20の会議が大阪で開催されています。自国の利益を代表する政治家が集まって、国際協調と人類の平和と繁栄を話し合っています。地球も寿命があり遠い将来ではありますが、確実に消滅することが約束されているようです。物理学や宇宙科学がそのことを現実のこととして証明しています。科学の進歩は、人間の思考、哲学をも変革して行きます。学ぶことのない愚かな人々は、物欲・所有欲にまみれて、底の知れない自己主張を正当化しています。地球という小さな船に乗っている人類は、自然界の他の生物との共存を含めて全ての生命体と運命共同体の宿命から逃れることはできないという今や小学生でも理解する事柄ですら理解できていません。この世には、永遠不滅なものは、何一つ無いという事実、有限の命、有限の地球資源という前提で、全ての事柄を組立て直す必

要がありそうです。

生命科学は病気の無い社会や不老長寿を目指しているように見え、極めて滑稽な姿を見せているとも言えましょう。先天異常の発生頻度は、昭和20年代から現在まで変わることなく約5%とされています。妊娠中に摂取すると先天異常の発生にリスクのある物質は、年々明らかになり、そのことは妊婦に十分伝達されているのにも拘らず、変わりません。先天異常で問題なことは、障害者が終生人としての尊厳を持ちうる社会が存在するか否かであると考えられます。両親や肉親のみが障害者を守る存在であれば、人々は障害者にはなりたくはありません。また、健常者が病気になると社会の落伍者のように扱われるのではないかと不安から病気になりたくないと思います。『死は怖くない、しかし死ぬのは怖い』という言葉があります。死は怖くないというのは、概念としての死です。死は万人に必ず訪れます。従って万人に訪れる死は怖くありません。しかし自らや愛する者に訪れる死は、死のプロセスにおいて苦痛を伴うので恐怖の対象です。獣医療は、死のプロセスにおける苦痛を取り除くことを可能としました。死の恐怖にはもう一つ原因があります。それは愛する者たちと分かれる『孤独』です。孤独は心の問題であり、人々は一生をかけて愛するものと別れる孤独に耐えうる心を養わなければなりません。

限られた命の時間をどのように充実して過ごすかは、心の問題でもあります。徒らに救命のために時間を浪費し、充実した命の時間を消費するのは死のプロセスにある生命体にとってマイナスであることもあるでしょう。日々、死に直面する獣医師は、自らの死生観を確立し、有限の命の充実に向き合いたいものです。限りない欲望の渦巻く現代社会であればこそ、欲望の抑制による秩序ある社会の構築に貢献したいものです。欲望の渦巻くG20を横目に6月号をお届けいたします。

(初雁)

広告

わたしたち森久保薬品は人と動物の「これから」を真剣に考えています。

胃腸と皮膚が気になる犬に



Dr. CREDO No.1
成犬用 総合栄養食 1kg・3kg

血流と健康が気になる犬に



Dr. CREDO No.2
中・高齢犬用 総合栄養食 1kg

下部尿路が気になる成猫に



Dr. IDEA No.1
成猫用 総合栄養食 150g×6パック(900g)

成猫の体重管理に



Dr. IDEA No.2
成猫用 総合栄養食 150g×6パック(900g)

M 森久保薬品株式会社

神奈川：046-221-0620 山梨：055-224-5278 群馬：027-230-3322 東京：042-564-2381 埼玉：04-2968-0881
三郷：048-948-2112 栃木：028-666-3399 茨城：0296-43-1661 成田：0476-40-5811 茂原：0475-24-1613

広告

公益社団法人日本獣医師会 獣医師福祉共済事業

獣医師の皆さまとご家族に
大きな安心を!!



獣医師の皆さまを取り巻く様々なリスクの備えに

「獣医師会のほけん」

団体割引20% 病気やケガに備える

所得補償保険

団体長期障害
所得補償保険

新・団体医療保険*

傷害総合保険

動物病院従業員補償
傷害総合保険

*医療保険基本特約、疾病保険特約、傷害保険特約、がん保険特約セット団体総合保険

動物病院の「什器・備品・医療機器」の損害に備える

動物病院「什器・備品・医療機器」総合補償
(テナント総合保険)

保険契約者 公益社団法人 日本獣医師会

この案内は概要です。詳しい内容につきましてはパンフレットをご請求いただき、取扱代理店または損保ジャパン日本興亜営業店までお問い合わせください。

問い合わせ先

幹事代理店 株式会社安田システムサービス

〒163-1529 東京都新宿区西新宿1-6-1新宿エルタワー29F
TEL:03(3340)6497 FAX:03(3340)5700
受付時間 9:00~17:30(土・日・祝休)

引受保険会社

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

団体・公務開発部第二課
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL:03-3349-5402 FAX:03-6388-0161
受付時間 9:00~17:00(土・日・祝休)



日本獣医師会福祉共済事業各保険の資料は下記幹事代理店までご請求ください。
なお、携帯電話からもご請求いただけます。
下のQRコードからアクセスしてください。

SJNK17-15251 (2017.12.6)



NexGard SPECTRA[®] ネクsguard スペクトラ



動物用医薬品 要指示
犬用ノミ・マダニ駆除剤
犬糸状虫症予防・消化管内寄生虫駆除剤

Broadline[®] ブロードライン[®]



動物用医薬品 要指示
猫用ノミ駆除・寄生予防／マダニ駆除剤
猫の犬糸状虫症予防／消化管内線虫・糸虫駆除剤



犬も猫もオールインワンのお薬で安心

Boehringer
Ingelheim

ベリンガーインゲルハイム
アニマルヘルスジャパン(株)

ZENOAG 日本全薬工業株式会社

登録商標





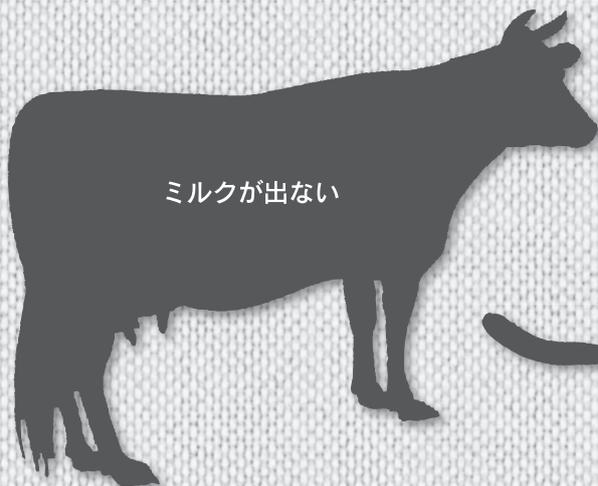
日本獣医師会・獣医師会活動指針

－ 動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。－

- 1 地球的課題としての食料・環境問題に対処する上で、生態系の保全とともに、感染症の防御、食料の安定供給などの課題解決に向け、「人と動物の健康は一つと捉え、これが地球環境の保全に、また、安全・安心な社会の実現につながる。」との考え方（One World-One Health）が提唱され、「人と動物が共存して生きる社会」を目指すことが求められている。
- 2 一方、動物が果たす役割は、食料供給源としてのほか、イヌやネコなどの家庭動物が「家族の一員・生活の伴侶」として国民生活に浸透するとともに、動物が人の医療・介護・福祉や学校教育分野に進出し、また、生物多様性保全における野生動物の存在など、その担うべき社会的役割は重みを増すとともに、一層多様化してきている。
- 3 他方、国民生活の安全・安心や社会・経済の発展を期する上で、食の安全性の確保や口蹄疫、トリインフルエンザ、狂犬病等に代表される新興・再興感染症に対する備えとともに、家庭動物の飼育が国民生活に普及する中で動物の福祉に配慮した適正飼育の推進が、更には、地球環境問題としての生物多様性の保全や野生鳥獣被害対策を推進する上での野生動物保護管理に対する関心が高まってきている。
- 4 我々、獣医師は、「日本獣医師会・獣医師倫理綱領－獣医師の誓い－95年宣言－」が規定する専門職職業倫理の理念の下で、動物に関する保健衛生の向上と獣医学術の振興・普及を図ること等を通じ、食の安全性の確保、感染症の防御、動物疾病の診断・治療、更には、野生動物保護管理や動物福祉の増進に寄与するとその責務を担っている。
- 5 獣医師会は、高度専門職業人としての獣医師が組織する公益団体として、獣医師及び獣医療に対する社会的要請を踏まえ、国民生活の安全保障、動物関連産業界の発展による社会経済の安定、更には、地球環境の保全に寄与することを目的に、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」を活動の理念として、国民及び地域社会の理解と信頼の下で、獣医師会活動を推進する。

【参 考】

「One World-One Health」とは、動物と人及びそれを取り巻く環境（生態系）は、相互につながっていると包括的に捉え、獣医療をはじめ関係する学術分野が「ひとつの健康」の概念を共有して課題解決に当たるべきとの考え。2004年に野生生物保全協会（WSC）が提唱した。また、国際獣疫事務局（OIE）は、2009年に「より安全な世界のための獣医学教育の新展開」に関する勧告において、動物の健康、人の健康は一つであり生態系の健全性の確保につながるとする新たな理念として「One World-One Health」を実行すべきである旨を提唱している。



ミルクが出ない



太りすぎ



卵が少ない

そんな悩みを

わかっていてくれる。



治りが遅い



高齢化



食欲がない

アクティは大切な動物の健康をサポートします。

私共、アクティ動薬事業部は、動物病院ならびに

牛、豚、鶏などの産業動物を対象とした

動物用医薬品、特別療法食、医療機器等の販売をしています。

20世紀は抗生物質の時代、

21世紀は生菌製剤の時代といわれるように、

健康に関する考え方も大きく変化してきています。

私たちは、獣医療を支えている関係者、畜産農家、

ペットオーナーの皆様方と共に、健康で、豊かで、安心な

生活を営んでいけるように、力を注いでまいります。

本社・長野県営業部

〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村8228
TEL:0263-87-7247 FAX:0263-87-7247

北関東営業所

〒370-1135 群馬県佐波郡玉村町板井870
TEL:0270-65-0552 FAX:0270-65-0553

さいたま営業所

〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西5-3-24
TEL:048-611-6111 FAX:048-611-6116

千葉営業所

〒260-0851 千葉県千葉市中央区矢作町243
TEL:043-308-0221 FAX:043-308-0223

茨城営業所

〒311-4152 茨城県水戸市河和田1丁目1642-1
TEL:029-306-8271 FAX:029-251-3880

山梨営業所

〒409-3863 山梨県中巨摩郡昭和町河東中島1599-4
TEL:055-275-5573 FAX:055-275-5564